

## 性教育講演会受講報告書

1. 日 時 令和6年1月12日(金)14:25～15:15
2. 場 所 体育館
3. 参加者 2年生生徒+保健委員5名
4. 演 題 「恋愛とデートDV～よりよい人間関係をつくるために」
5. 講 師 さんかくナビ 青野 雅世先生
6. 講演会内容

DVには、身体的、性的、経済的、精神的、社会的、デジタル的といった多くの種類が有る。デートDVは、交際中におこる暴力などを言い、それらのカップルには約束事が多くみられる。その約束は、約束という名の相手の行動制限となっている。本当にその約束が必要か？なければいけないものかを考える必要がある。

ケンカは、対等な立場で行うこと。恋愛や交際が加わるとデートDVにつながる。

将来への不安から暴力をふるったと当事者は言うが、同じ状況でも暴力を振るわない人もいる。また、誰にでも暴力をふるうかと言えば、コントロールしたい人や出来る人に対して、コントロールするために暴力をふるう。

DV被害にあわないためには、嫌だ、つらい、逃げたいなど自分の感覚を大事にしてほしい。暴力による支配の容認が危険なので、お互いの意思の尊重や相手の意見の確認を行うことが必要となる。

もし被害にあったら、友達に相談しよう。とはいえ話すということは難しいので、相談電話やネットなどを匿名で利用し、話の合う相談相手を見つけてほしい。

もし友達に相談されたら、まずは「あなたは悪くない」といってあげる。暴力を振るわれた人は自分が悪いと思っている人が多い。

それから、一緒に信頼できる安全な人に相談してほしい。

もし友達が暴力をふるっていたら、友達にそれは暴力であることを教えてあげてほしい。

最後に自立することは、一人で生きていくのではなく、自分が困ったときに自分の状態が分かり、助けてと言えることが一番大事です。そのためには、友達、電話相談、ネットなどどこでもいいので、信頼して相談できる場所を見つけておいてください。

### 7. 感想

今回の講演を通じて、自分の感覚を大事にすること、自分の状態を理解し、困ったときに助けを求めることが大事であることがわかりました。また、そのために相談できる場を見つけておくことが必要なこともわかりました。相談場所として家族を選んでもらえたらうれしいですが、思春期ということもあり、話しづらい内容もあることと思います。今の時代だからできるネットなどを利用し、安全な相談場所を確保することも一つの方法だとわかりました。

報告者：PTA保健委員会 藤森